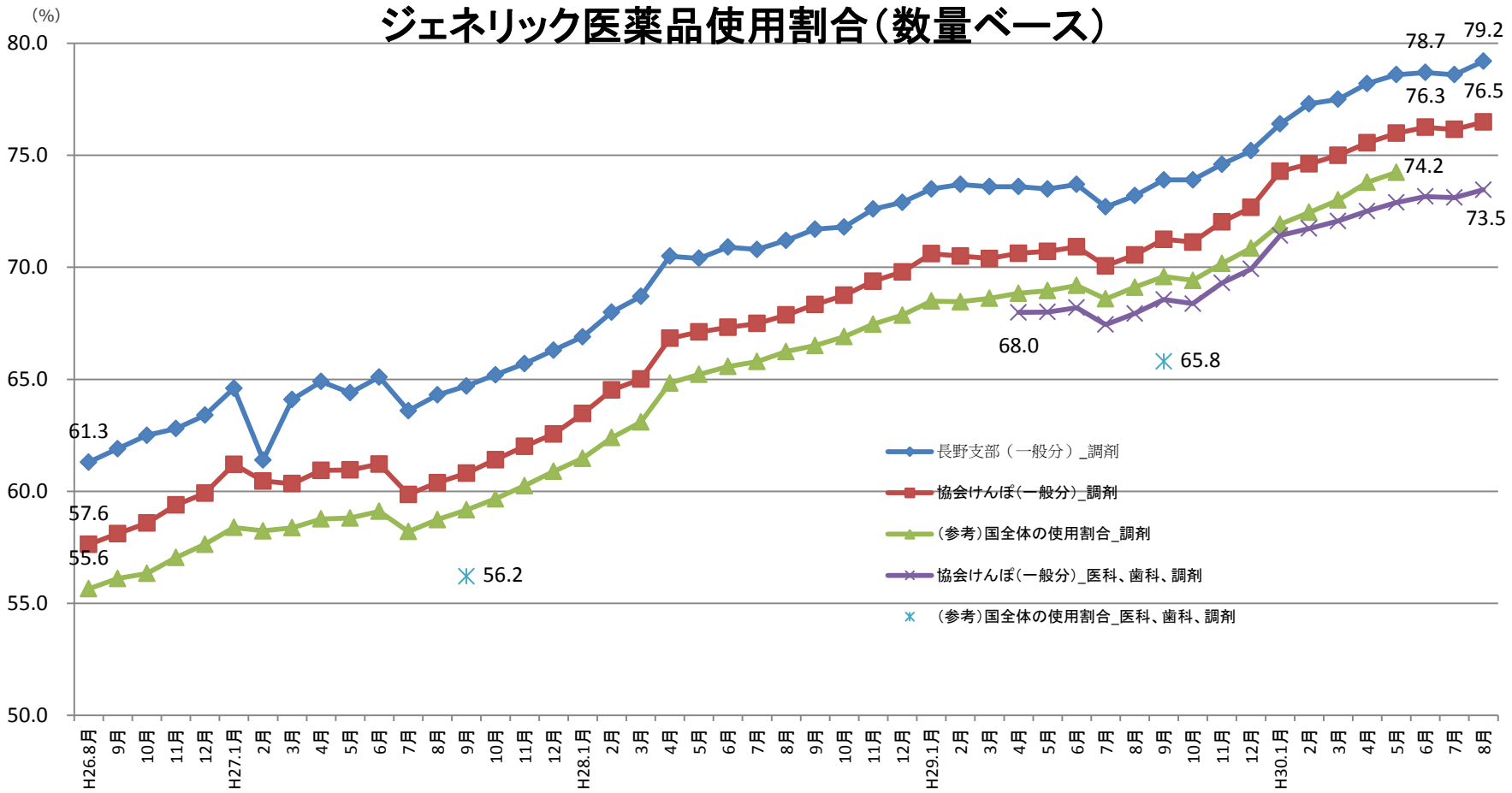
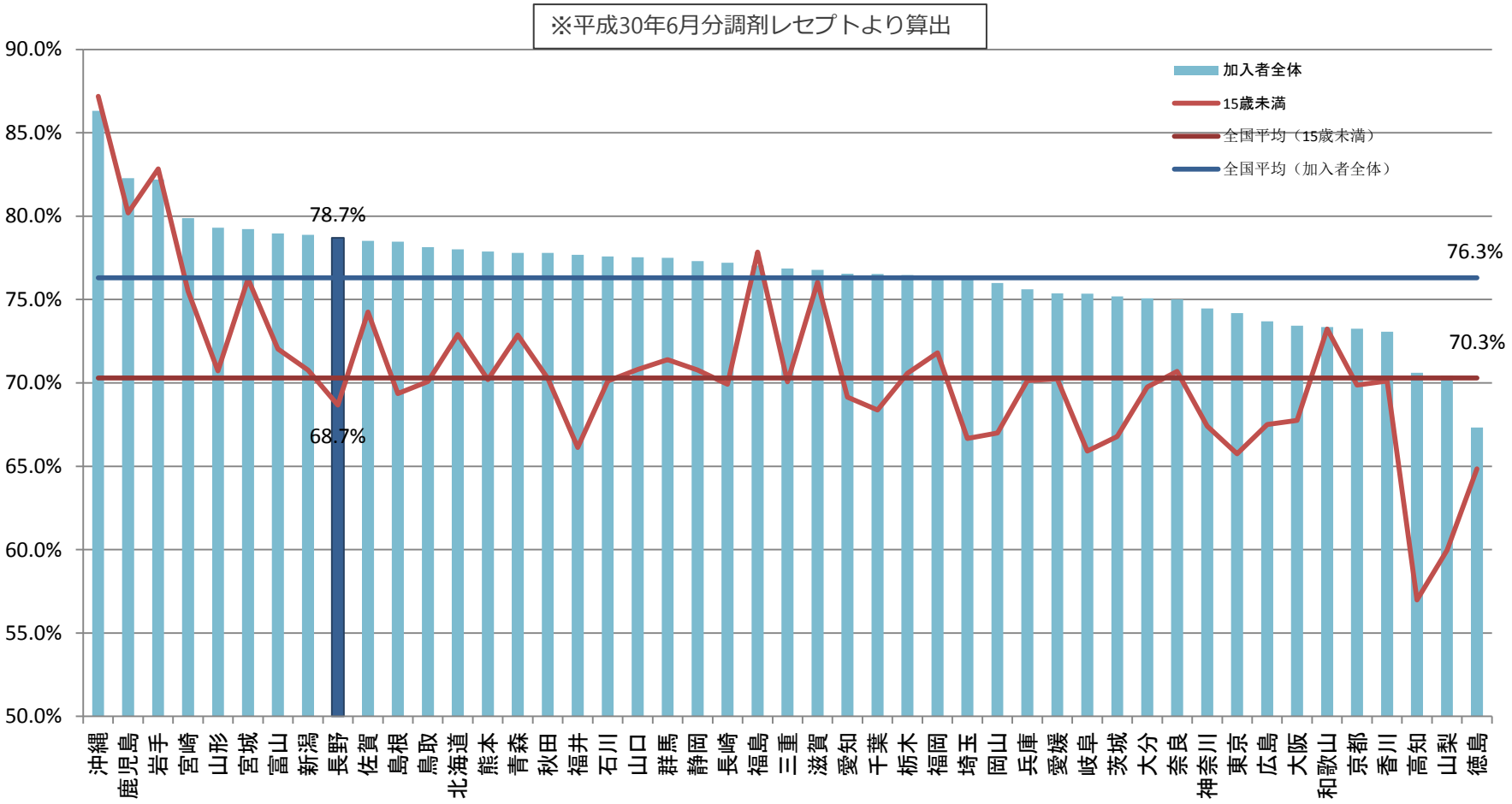
ジェネリック医薬品はどれくらい使用されているのか？



注１．協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）
　　なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。
注２．「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。
注３．[後発医薬品の数量]／（[後発医薬品のある先発医薬品の数量]＋[後発医薬品の数量]）で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
注４．「国全体の使用割合_調剤」は「調剤医療費（電算処理分）の動向」（厚生労働省）、「国全体の使用割合_医科、歯科、調剤」は「医薬品価格調査」（厚生労働省）による。
注５．後発医薬品の収載月には、後発医薬品が初めて収載される先発医薬品があると算出式の分母の対象となる先発医薬品が増えることにより、後発医薬品割合が低くなることがある。

ジェネリック医薬品はどれくらい使用されているのか？

全国平均と各都道府県のジェネリック医薬品使用割合



注１．協会けんぽ（一般分）の調剤レセプトについて集計したもの（算定ベース）
注２．「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注３．[後発医薬品の数量]／（[後発医薬品のある先発医薬品の数量]＋[後発医薬品の数量]）で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

グラフから読み取る３つのポイント

✓ ジェネリック使用割合は4年間で約18%ポイント上昇

平成26年8月の統計では、長野支部のジェネリック医薬品の使用割合は61.3％であったのに対し、平成30年8月には長野支部79.2%まで伸び、4年間で17.9％ポイント上昇しています。

✓ 長野支部のジェネリック使用割合は全国9位！

平成30年6月の統計では、長野支部のジェネリック医薬品の使用割合（78.7％）は全国平均（76.3％）より高く全国9位となっています。なお、全国１位は沖縄支部の86.3％で、２位鹿児支部82.3%、3位岩手支部82.2％と80%を超えています。

✓ 長野支部の15歳未満の使用割合は全国平均以下

平成30年6月の統計では、長野支部の15歳未満のジェネリック医薬品使用割合は68.7%と全国平均70.3%より低く、全国34位となっています。全体順位（9位）と比べるとかなりのギャップが見られ、現在の長野県のジェネリック医薬品使用の特徴であるとともに、今後の課題といえます。

※すべて調剤分の使用割合

子どものお薬もジェネリック医薬品を選択して
ジェネリック医薬品使用割合８０％を目指しましょう！

※国においてはジェネリック医薬品の普及促進を図るために
「**2020年9月までに数量シェア目標８０％を達成すること**」を定めています。

これからの課題

- **15歳未満の子ども世代**にもジェネリック医薬品を選択してもらうこと
- 幅広い世代の方にジェネリック医薬品と、その効果について知って頂く機会をより増やすこと

現在、ジェネリック医薬品をより普及・促進していくために行っている、協会けんぽ長野支部の**4つの使用促進事業**をご紹介します！

長野支部が実施する
ジェネリック医薬品使用促進事業①

ジェネリック医薬品軽減額通知

皆様のお薬代の負担軽減につながる「ジェネリック医薬品」の普及・推進のため、処方されたお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、どのくらいお薬代の自己負担額が軽減されるか試算した「ジェネリック医薬品軽減額通知」を自己負担額が一定額以上お安くなる方にお送りしています。

ジェネリック医薬品に切り替えた場合の軽減額が一目で分かり、効果が実感できます！

ここで疑問…⇒実際にジェネリック医薬品を使うことでお薬代は下がるの？

ジェネリック医薬品軽減額通知による効果

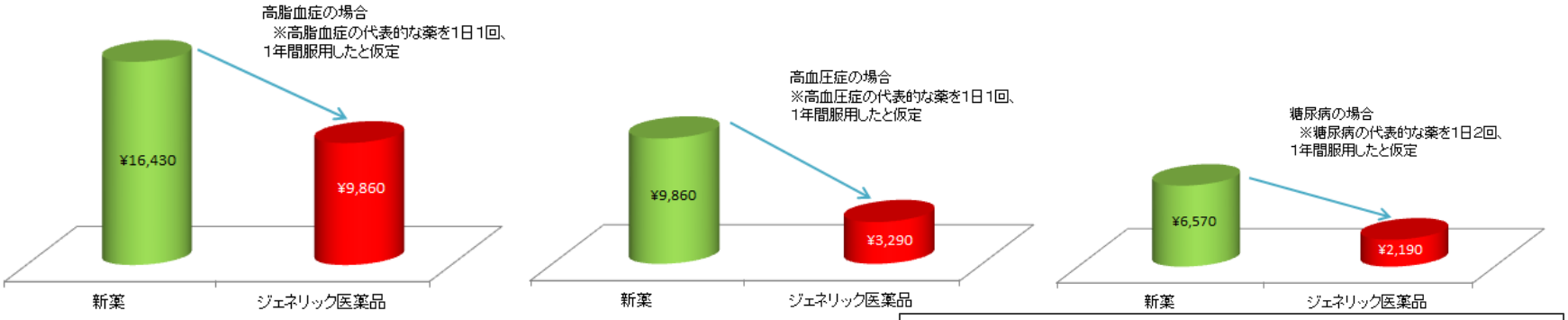
協会けんぽでは、平成21年度よりこの通知を送付しています。平成21年度から平成29年度までの9年間の累計では、約1,310億円もの軽減効果がありました。

（統計）ジェネリック医薬品軽減額通知による効果額等

	送付者数（のべ）	切替者数（のべ）	切替率	軽減効果額/年
全国	26,318,485人	7,174,585人	27.3%	約1,310億円
長野支部	391,414人	108,590人	27.7%	約21億円

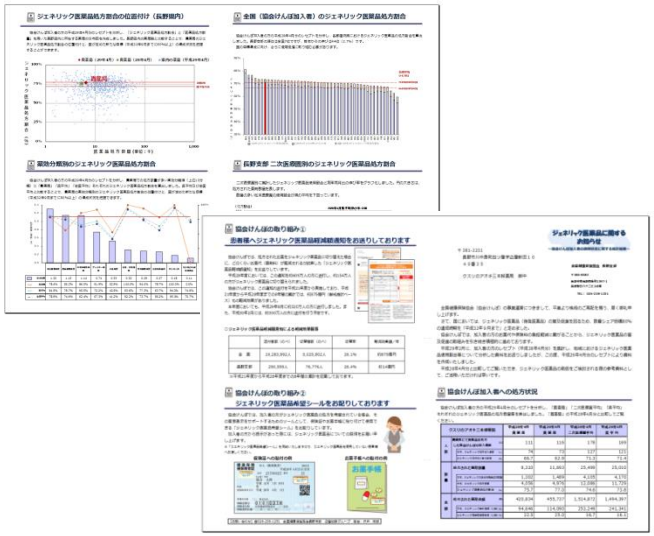
※平成21年度から平成29年度までの9年間の累計。
軽減効果額は、軽減額（月）×12か月（単純推計）

ジェネリック医薬品は先発医薬品より大幅に研究開発費を抑えることができるために価格を安く設定することができます。そして先発医薬品と同じ主成分を使い、効き目や安全性が先発医薬品と同等であると国から承認されていることから、安全性と経済性の高い医薬品です。



いずれも健保・国保3割負担で算出
参考：ジェネリック医学会リーフレット「家計にやさしいお薬を！」

長野支部が実施する
ジェネリック医薬品使用促進事業②



ジェネリック医薬品情報提供ツール

　長野県内の薬局に対して送付している「ジェネリック医薬品情報提供ツール」は、薬局ごとの協会けんぽ加入者の調剤レセプト（調剤報酬明細書）を分析し、薬局のジェネリック医薬品処方の状況を可視化したものです。具体的には分布図を用いた県内におけるジェネリック医薬品の処方度合いの位置づけや、二次医療圏別のジェネリック医薬品処方割合などのデータを記載しており、自薬局の位置づけが一目で分かります。

複数のデータから自薬局の現状把握ができ、

更なるジェネリック医薬品の普及が期待されます！

長野支部が実施する
ジェネリック医薬品使用促進事業③

お薬手帳カバー

病院や薬局にかかる際に必要なお薬手帳や診察券・保険証等をまとめて収納できるお薬手帳カバーを配布しています。持ち運びが便利なだけでなく、複数の薬局にかかっても同じ手帳を提示できるので重複投薬や禁忌服薬の防止も期待できます。

また、お薬手帳カバーにはジェネリック医薬品についてわかりやすく解説した「ジェネリック医薬品Q＆A」と「ジェネリック医薬品希望シール」が付属されています。「ジェネリック医薬品希望シール」を保険証やお薬手帳に貼っていただくことで患者様がジェネリック医薬品を希望していることが医師・薬剤師に伝わります。

お薬手帳と診察券、保険証などがまとめて収納でき、
病院や薬局への持ち運びに大変便利です！

長野支部が実施する
ジェネリック医薬品使用促進事業④

子ども医療費のしくみチラシ

ジェネリック医薬品の使用率を年代別で比較すると、特に15歳未満の子ども世代において使用率が低い状況です。

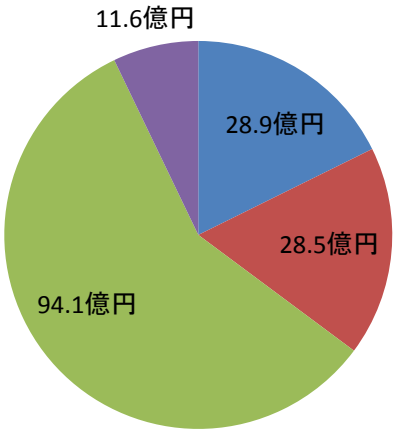
協会けんぽ長野支部では、年代別のジェネリック医薬品の使用割合や子ども医療費助成制度の仕組みを説明したチラシを作成しました。このチラシは、子ども医療費が平成30年8月から現物給付に移行するのに合わせて更新される受給者証に同封し、県内18市町村で配布しました。

子ども医療費の仕組みを正しく理解することにより、
医療費に対する意識が変わります。

ジェネリック医薬品(GE)の使用率を上げると、保険料率が下がるってホント？！

協会けんぽは、加入者の皆様に納めていただいている保険料で医療機関へ支払う医療費をまかなっています。その保険料率は都道府県ごとの医療費の支払い額に応じて決まります。つまり、長野県全体の医療費が安くなるほど皆様に負担して頂く保険料も安くなります。

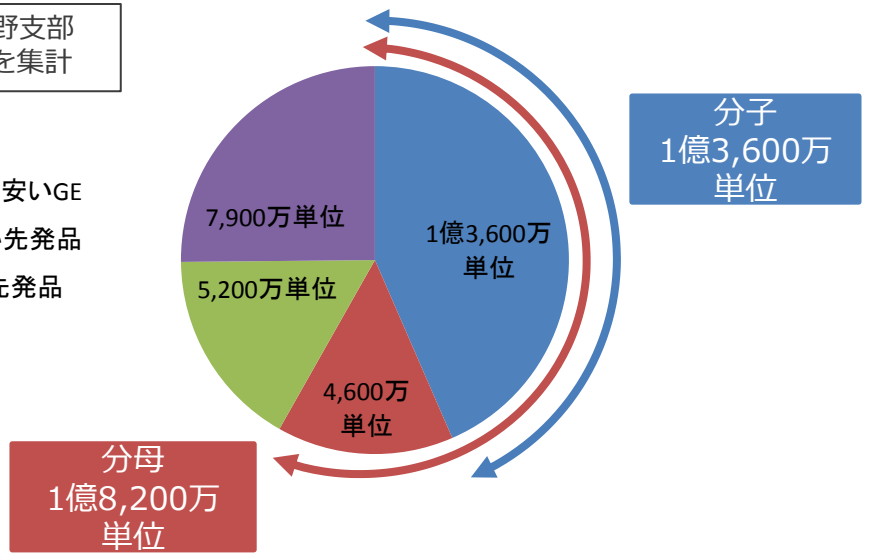
薬剤の金額（約163.2億円）



平成29年度長野支部
調剤レセプトを集計

- 先発品より安いGE
- GEより高い先発品
- GEのない先発品
- その他

薬剤の数量（約3億1,200万単位）



先発品の数量1単位当たりの金額は平均約62円。ジェネリックは平均約21円。ジェネリック医薬品使用割合80%（平成29年度時点：74.7%）に向けて残り5.3%の先発品をジェネリック医薬品に切り替えると、約3.9億円薬剤金額が下がります（平成31年度保険料率でみると9.69%⇒9.67%）。

このように、ジェネリック医薬品の使用率を上げると保険料率を下げることができます。保険料の負担を軽くするためにも、ぜひ安心・安全・経済的なジェネリック医薬品を使いましょう。